

平成 30 年 12 月 04 日  
中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所

## 【報告】

# 第 2 回新丸山ダム水源地域協議会を開催しました。 ～水源地域の振興に向けて～

丸山ダムや工事中の新丸山ダムを活かした観光客の誘致など、水源地域の振興に向けた方策を検討する「第 2 回 新丸山ダム水源地域協議会」を、11 月 21 日に八百津町ファミリーセンターにおいて開催しました。

- 協議会では、第 1 回協議会（平成 29 年 8 月 25 日開催）以降のツーリズム誘致の取り組みや展望台候補地の検討状況、転流工「記念石」のスタンプラリー実施などについて事務局より報告し、その後、各会員より、地域振興への期待や思い、提案などを頂きました。
- 「今後の予定」として、新たなツーリズムの検討や展望台候補地の選定、ハード・ソフト整備を含めた具体的な地域振興の取り組みをまとめる、「水源地域振興ビジョン」を策定することとして、今後、幹事会や WG で検討を進めていくことが確認されました。

### 記

- 1) 日 時：平成 30 年 11 月 21 日（水）16:45～17:30
- 2) 会 場：八百津町ファミリーセンター 2 階講義室  
(岐阜県加茂郡八百津町八百津 3827-1)
- 3) 配付資料：新丸山ダム水源地域協議会  
第 2 回協議会議事要旨  
出席者名簿  
※協議会資料は事務局 HP に掲載
- 4) 出席者：出席者名簿参照
- 5) 解 禁：指定なし
- 6) 配布先：美濃加茂市政記者クラブ 可児記者クラブ

【問い合わせ先】国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所  
副所長 永田 基、調査課長 栗山 康弘  
電話 0574-43-2780（代表）



八百津町  
金子町長



御嵩町  
渡邊町長



恵那市  
小坂市長



瑞浪市  
金森建設部長



関西電力(株)東海支社  
中田総務部長



丸山ダム管理所  
下村所長



新丸山ダム工事事務所  
野々村所長

## 第2回 新丸山ダム水源地域協議会を開催 ～「ダム水源地域の振興の取組み」を検討～

丸山ダムや工事中の新丸山ダムを活かした観光客の誘致など、水源地域の振興に向けた方策を検討する「第2回 新丸山ダム水源地域協議会」を、11月21日に八百津町ファミリーセンターにおいて開催しました。

協議会では、第1回協議会(平成29年8月25日開催)以降のツーリズム誘致の取組みや展望台候補地の検討状況、転流工「記念石」のスタンプラリー実施などについて事務局より報告し、その後、各会員より、地域振興への期待や思い、提案などを頂きました。

また、「今後の予定」として、新たなツーリズムの検討や展望台候補地の選定、ハード・ソフト整備を含めた具体的な地域振興の取組みをまとめる、「水源地域振興ビジョン」を策定することとして、今後、幹事会やWGで検討を進めていくことが確認されました。



### <参考>

協議会開始前には、2市2町の首長等にも出席いただき、他ダムのツーリズム(ツアー)の実施状況や他県の民間活力を利用した地域振興に関する取組み事例など、情報共有する場として、「勉強会」を開催しました。

## 第2回 新丸山ダム水源地域協議会 出席者名簿

所 属	氏 名	備 考 (代理出席)
瑞浪市長	ミスノ コウジ 水野 光二	建設部長 カナモリ サトル 金森 悟
恵那市長	コサカ タカネ 小坂 喬峰	
八百津町長	カネコ マサノリ 金子 政則	
御嵩町長	ワタナベ キミオ 渡邊 公夫	
関西電力(株)東海支社長	ハラグチ カズハル 原口 和靖	総務部長 ナカダ カズマ 中田 一真
国土交通省丸山ダム管理所長	シモムラ タカシ 下村 卓	
国土交通省新丸山ダム工事事務所長	ノノムラ タケフミ 野々村 武文	

## 第 2 回 新丸山ダム水源地域協議会 要旨

日 時：平成 30 年 11 月 21 日（水）16:40～17:30

場 所：八百津町ファミリーセンター2 階 講義室

出席者：瑞浪市 建設部長 金森 悟（瑞浪市長代理出席）

恵那市長 小坂 喬峰

八百津町長 金子 政則

御嵩町長 渡邊 公夫

関西電力（株）東海支社 総務部長 中田 一真（東海支社長代理出席）

国土交通省丸山ダム管理所長 下村 卓

国土交通省新丸山ダム工事事務所長 野々村 武文

### < 発言要旨 >

#### 【八百津町 金子町長】

- ・丸山ダムや今後の新丸山ダムの本体工事等、多くの人に知ってもらえるよう、様々な仕掛けが必要。
- ・ツーリズムに関するアンケート（住民の要望等）の実施なども有効と考える。
- ・ハッ場ダムの地域振興の取り組みを参考にした検討も必要。

#### 【御嵩町 渡邊町長】

- ・地域振興においてはリピーターが重要であり、どのように集めるかがカギ。
- ・ツーリズムでは、1日や1泊のツアーなど、いくつものモデルコースを作成し、選択できるような検討も必要。例えば、外国人をターゲットとしたツアーや、最近流行りのアクティビティー型（参加・体験）ツアーなども考えられる。
- ・御嵩町においては、中山道の宿場、願興寺の解体修理との連携が考えられる。

#### 【恵那市 小坂市長】

- ・平成 29 年度の東海地方における道の駅の統計結果では、「おばあちゃん市」は 10 位（利用者数）であった。道の駅全体の売り上げも好調であり雇用も創出している。レストランの材料も地産地消であり、地域振興に大いに寄与している。
- ・付替国道 418 号の完成と、9 年後に完成予定のリニア岐阜県駅と合わせ、新たな人の動きも期待できる。

【瑞浪市 金森建設部長】

- ・ 五月橋の架け替え（付替県道大西瑞浪線）により、八百津町との新たな交流が期待できる。また、架け替えにより、丸山ダム・新丸山ダムと中山道や小里川ダムとの連携したツーリズムも期待できる。

【関西電力（株）東海支社 中田総務部長】

- ・ 関西電力においても、読書ダムや大井ダム、旧八百津発電所や現在の改良工事現場の案内等しており、できる協力はしていきたい。

<今後の予定>

- ・ 新たなツーリズムの提案、展望台候補地の選定など、ハード・ソフト整備を含めた具体的な地域振興の取り組みをまとめる、「水源地域振興ビジョン」の策定に向け、幹事会、WGで議論を重ねていくことが確認された。

－ 以上 －